

生物の生息状況の把握

平地農業地域

福岡県宮若市における活動組織の例

- 宮若市は福岡県の北西部に位置し、山紫水明の豊かな自然が残る農山村地であるが、河川や水路においては雑草(葦)が生い茂り、子どもたちが川遊びできる場所がなくなり、生物と接する機会が少なくなっている。
- 自治会と子供会が協力し合い、11月にため池のコイ取りを兼ねて、生物の生息状況の把握を行っている。
- 本活動に取り組む子ども会の参加者数も、少子化の影響で年々減少している中、生物に触れることで、地域の環境保全に取り組む意識が向上している。

【地区概要】

- ・取組面積36ha
(田35.5ha、畑5.2ha)
- ・資源量 開水路11.9km
パイプライン0.0km
農道6.9km
溜池3箇所
- ・主な構成員 農業者、自治会
婦人会、壮青年部等
- ・活動内容
(農地維持支払
資源向上支払(共同))

活動開始前の状況や課題

- 最近、以前より生息していた生物が、見られなくなっている。



取組内容

- 平成20年度より、年1回溜池及び水路等の生物の生息状況の把握を行っている。
- 子ども会を中心に生物を採取し、水槽に入れて観察、名前が不明なものについては図鑑などで確認している。



取組の効果

- 水路の整備や農薬の軽減を図り、地域で環境保全に取り組む意識が向上した。

